

日本倫理・哲学グランプリ 2016

【課題】

次の4つの課題文のうちから1つを選択し、「哲学エッセイを書くにあたって」を参考にしつつ、エッセイを書きなさい。

- ① 善なる意志は、それが引き起こし成し遂げることによって善なのではなく、またそれがある目指された目的の達成にとって有用であることによって善なのでもない。それはただ、その意志の働きのみによってのみ善なのである。
(イマヌエル・カント)
- ② 私たちが把握できるのは、私たち自身が作り上げた世界だけである。
(ニーチェ)
- ③ […] 普通は自分というものを、名前とか肉体とかと同一視して、自分とは誰それ、あるいはこの肉体であると思っていますが、自己性の謎とはそのことではなくて、そう思っているところのこの自分とは何か、その自分が謎だということです。自分は誰それだとか、この肉体だと思っている「この自分」とはいったい誰なのか。これは絶対的な主語ですね。肉体とか名前とかは述語であり、属性ですから、何でもいいんです。けれども、この絶対的な主語とは何なのか。これが哲学的な自己の謎です。[…] そのわからない誰でもない自分が、しかしここで某をやっているのは、なぜなのか。誰でもない自分が、某としてこの肉体をやっているこのおかしき。これは何なのか。
(池田晶子)
- ④ うその中にうそを探すな
ほんとの中にうそを探せ
ほんとの中にほんとうを探すな
うその中にほんとうを探せ
(谷川俊太郎)

哲学エッセイを書くにあたって

哲学エッセイは、学校でよく課題に出るいわゆる「生活作文」（生活の中で体験したことについて自分が感じたこと、考えたことを書くもの）ではありません。そうではなく、ある問題やテーマに関して、自分なりに問いを立て、様々な角度から考察し、筋道立てて書くものです。評価のさいには以下のような点が重視されます。

- ・ 選んだ課題文に含まれるテーマや問題とどれくらい向き合っているか。
- ・ そのテーマや問題についてどれくらい深く考え、理解しているか。
- ・ 自ら問いを設定し、それに答えるべく論じ、結論を出しているか。
- ・ 主張や意見を述べるさい、なぜそう言えるのか、明確な理由を挙げているか。
- ・ 具体的で分かりやすく、説得力のある首尾一貫した論述になっているか。
- ・ 反対の立場も検討しつつ、自分の立場をはっきりさせて論じているか。
- ・ 自分なりの論点や考えを含んだ個性的なエッセイになっているか。

こんなことを言われても、実際にはどうすればいいのか分からないかもしれませんし、これらのポイントをすべて満たすなんて無理でしょう。でも、書きながら迷い、悩んでください。それでもチャレンジするのが大事です。